



04 インパクトグリストラッパー IMPACT GREASTRAPPER

安全データシート〈SDS〉兼 GHS分類シート

目次 / TABLE OF CONTENTS

① 化学品及び会社情報	⑦ 暴露防止及び保護措置	⑬ 廃棄上の注意
② 危険性・有害性の要約	⑧ 取扱い及び保管上の注意	⑭ 輸送上の注意
③ 組成・成分情報	⑨ 物理的及び化学的性質	⑮ 適用法令
④ 応急処置	⑩ 安定性及び反応性	⑯ その他の情報
⑤ 火災時の処理 応急処置	⑪ 有害性情報	
⑥ 漏出時の処置	⑫ 環境影響情報	

① 化学品及び会社情報

製品名	: インパクトグリストラッパー(IMPACT GREASTRAPPER)
販売者	: PROUP株式会社
住所	: 新潟県新潟市中央区西大畑町617-2
電話番号	: 025-290-7704
FAX番号	: 025-290-7794
メールアドレス	: info@proup-impact.co.jp
緊急連絡先	: 025-290-7704

② 危険性・有害性の要約

● 最重要危険有害性	該当しない
● 特有の危険有害性	高温下で溶融した樹脂に直接接触すると、やけどの危険がある。
● GHS分類	分類基準に該当しない

③ 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	化学式	(C ₃ H ₆) _n
化学名	ポリプロピレン	CAS No.	9003-07-0
一般名	ポリプロピレン	官庁公示番号(化審法)	(6)-402
成分及び含有量	ポリプロピレン 95%~100%	国連分類及び国連番号	対象外

4 応急処置

- 吸入した場合 ————— 高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入したときは、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し、安静にさせる。そして直ちに専門医の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 ————— 特に必要ない。ただし高温の溶融樹脂が付着した場合（やけど）、速やかに大量の冷水で患部を冷やし、清潔なガーゼ等で覆い、直ちに専門医の手当を受ける。
- 眼に入った場合 ————— 危険な物質ではないが、粒子が眼球を傷つける可能性があるため、目をこすらず、多量の清浄水で15分以上洗眼する。
- 飲み込んだ場合 ————— 危険な物質ではないが、水で口内をよく洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに専門医の手当を受けること。可能であれば、指を喉に差し込んで吐き出させる。

5 火災時の処理

- 消火剤 ————— 水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤などを用いることができる。水は冷却効果が大きいのので、水（水噴霧可）を使用することが望ましい。
- 消化方法 ————— 一般火災と同じ消火方法を用いて行う。周辺火災の場合、速やかに安全な場所へ移す。樹脂に着火した場合、火元への燃焼源を絶ち、風上から消火すること。
- 消化を行う者の保護 ————— 呼吸用保護具を着用する。

6 漏出時の処置

- 掃きとり、回収または破棄する。
排水系などの水面へ漏出した場合は、魚類、鳥類等が摂取するおそれがあるので、網等の捕集設備ですべて回収する。

7 暴露防止及び保護処置

- 設備対策 ————— 特に必要ない
- 管理濃度 ————— 未設定
- 許容濃度 ————— 未設定

8 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 ————— 取扱場所は換気を良くし、周辺での火気の使用は禁止する。
電気機器類は必要に応じ防爆構造のものを使い、静電気対策も行う。
吸入や、皮膚への接触を防ぐよう、適切な保護具を着用する。
取扱場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗う。
- 注意事項 ————— 油脂を含むと滑りやすくなるため注意する。

保管

- 技術的対策 ————— 火気、熱源より遠ざける。
- 適切な保管条件 ————— 直射日光を避け、屋内の風通しの良い場所に保管する。
製品が長期間にわたり直射日光や高温多湿に曝されると、脆化し粉塵となり、吸入するおそれがある。
当該部室は消防法の指定可燃物（合成樹脂類）に該当するため、取扱いまたは貯蔵数量が3000kg以上となる場合には、所轄の消防署に届けなければならない。
また、市町村条例に従い防災措置を行わなければならない。

9 物理的及び化学的性質

物理的性状	[綿状の固体]
色	[白色]
臭い	[無臭]
密度	[0.89 g/cm ³ ～0.91 g/cm ³]
沸点	[データなし]

かさ比重	[0.034 g/cm ³] (通常出荷状態での標準的値)
融点	[154℃]
着火点	[400℃以上]
分解温度	[300℃以上]
溶解性	[水に不溶]

10 安定性及び反応性

- 可燃性 _____ あり
- 安定性・反応性 _____ 一般的な取扱い、貯蔵において安定であり、反応性なし。
- 自己反応性・揮発性 _____ なし
- 危険有害な分解生成物 _____ 一酸化炭素、二酸化炭素

11 有害性情報

急性毒性（経口）	[知見なし]
皮膚腐食性・刺激性	[知見なし]
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	[知見なし]
呼吸器感受性または皮膚感受性	[知見なし]
生殖細胞変異原性	[知見なし]

発がん性	[IARC のグループ 3] (ヒトに対する発がん性 については分類できない)
生殖毒性	[知見なし]
特定標的臓器毒性、単回ばく露	[知見なし]
特定標的臓器毒性、反復ばく露	[知見なし]
吸引性呼吸器有害性	[知見なし]

12 環境影響情報

- データなし。
ただし、鳥類や魚類が摂取する可能性があるため、いかなる場所でも排気及び放出してはいけない。

13 廃棄上の注意

- 残余廃棄物や梱包材については、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を順守して適正に処理する。
油脂を含ませた場合は油脂に適合した廃棄手段をとる。

14 輸送上の注意

- 国際規制 _____ 該当しない
- 国連分類 _____ 該当しない
- 注意事項 _____ 強酸化剤、過度の熱、火花及び火炎との接触を避けること。

15 適用法令

- 消防法 指定可燃物(合成樹脂類)3000kg
- 化学物質管理促進法 該当しない

16 その他の情報

- 原料メーカーからのMSDS を参考に作成しています。
- 本「安全データシート」の記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成して情報提供するものであり、記載データや評価について保証するものではありません。
- 注意事項は通常の取り扱いをする上で参考とし、使用者の責任において適切な安全対策を実施の上取り扱うようにしてください。

